

障害のある人が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート ～ご協力のお願い～

市民の皆さまには、日頃から調布市の福祉行政の推進に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市は、「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」の福祉3計画を連携させて、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを進めています。

このアンケートは、暮らしやすいまちづくりを着実に進めることに市民の皆さまの意見をいかすため、障害者手帳や特定医療費（指定難病）受給者証をおもちの方の中から2,700人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年●月 調布市長 長友貴樹

皆さまの回答は、障害のある人が暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。

調布市の福祉は市民が主役です。例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまが一緒になって、みんなで支え合うことがとても大切になります。



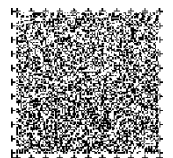
回答者は、封筒のあて名ご本人です。（問●～●のみ、ご家族が回答してください）

ただし、ご本人が回答することが難しい場合、ご家族や代理の人がご本人の意見を聞いて記入しても差し支えありません。

パラハートちょうふ

つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち

※調査票の各ページには、「音声コード(Uni-Voice)」を付しています。「音声コード」とは、1.8センチメートル角のコードを専用の読取機やスマートフォン用アプリが音声に変換し、文章内容を読み上げるものです。



～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和7年●月●日(●)

【回答所要時間】 30分から1時間程度(目安)

【回答方法】 郵送 または インターネット

(※どちらか一つの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》 調査票による回答の方法

- ①回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、()に具体的な内容を記入してください。
- ②質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ③回答しづらい、わからない場合は無理をせず、次の間に進んでください。全ての質問に回答できなくても大丈夫です。
- ④回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》 回答の方法

- ①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトアクセスしてください。
- ②調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③回答の途中で保存はできませんので、お時間に余裕のある時にご回答ください。

<専用ウェブサイトURL>

https://*****

二次元コード

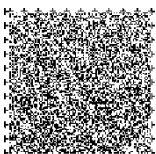
【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 障害福祉課

電話 042-481-7135・7094(課直通)

Fax 042-481-4288

E-mail syougai@city.chofu.lg.jp



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問1 この調査に回答していただく人を教えてください。(1つに○)

1 本人	2 家族などが代筆	3 その他
------	-----------	-------

1 あなた(ご本人)についておたずねします

問2 性別を教えてください。(1つに○)

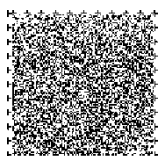
1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問3 年齢を教えてください。(1つに○) (令和7年●月●日現在)

1 10歳代	3 30歳代	5 50歳代	7 70歳代
2 20歳代	4 40歳代	6 60歳代	8 80歳以上

問4 お住いの地域を教えてください。(1つに○)

番号に○	(参考)地域に属する地区(○は不要)
1	東つつじヶ丘1丁目, 2丁目 西つつじヶ丘1丁目, 2丁目, 3丁目
2	東つつじヶ丘3丁目 西つつじヶ丘4丁目
3	佐須町1丁目, 2丁目, 4丁目, 5丁目 深大寺南町1丁目, 2丁目, 3丁目
4	深大寺東町1丁目, 2丁目, 5丁目, 6丁目, 7丁目, 8丁目 深大寺元町2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目
5	国領町1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目, 8丁目 布田2丁目, 3丁目
6	国領町6丁目, 7丁目 多摩川6丁目, 7丁目
7	多摩川1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目 布田1丁目, 4丁目
8	上石原 下石原2丁目, 3丁目



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

問5 住居形態を教えてください。(1つに○)

1 持ち家	3 グループホーム
2 賃貸住宅(民間アパート、都営住宅などを含む)	4 その他 (具体的に:)

問6 同居している家族を教えてください。(いくつでも○)

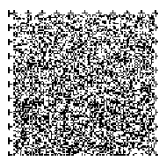
1 ひとり暮らし(グループホームなどを含む)	6 孫(孫の配偶者を含む)
2 配偶者(夫または妻)	7 兄弟姉妹
3 父親	8 祖父母
4 母親	9 その他(具体的に:)
5 子ども(子どもの配偶者を含む)	

問7 おもちの手帳等とその等級を教えてください。(いくつでも○)

ばんごう 番号に○	とうきゅう しゅべつ 等級・種別に○
1 身体障害者手帳	→ 1級 2級 3級 4級 5級 6級
2 愛の手帳	→ 1度 2度 3度 4度
3 精神障害者保健福祉手帳	→ 1級 2級 3級
4 特定医療費(指定難病)受給者証・マル都医療券	
5 もっていない	

問8 どのような病気や障害がありますか。(いくつでも○) ※特定医療費(指定難病)受給者証をもつ人は、「11 その他」の欄に病名をご記入ください。

1 目が不自由(視覚障害)
2 耳が不自由(聴覚障害・平衡機能障害)
3 言葉が不自由(音声・言語・そしゃく障害)
4 手足が不自由(上肢・下肢障害・体幹機能障害・運動機能障害)
5 心臓、腎臓、肝臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸などの障害(内部障害)
6 免疫機能障害
7 知的障害
8 精神疾患・精神障害(発達障害を除く)
9 発達障害(自閉スペクトラム症、学習症(LD)、注意欠如・多動症(ADHD)など)
10 高次脳機能障害
11 その他(具体的に:)



2 相談支援についておたずねします

問9 悩みや困りごとがある場合、主にどこに相談しますか。(いくつでも○)

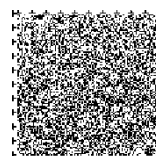
- 1 家族・親族(一緒に住んでいる・離れて住んでいる)
- 2 友人・知人
- 3 相談支援機関の職員(ちょうふだぞう, ドルチェ, 希望ヶ丘, こころの健康支援センター, サービス等利用計画の作成やモニタリングを行う相談支援専門員)
- 4 障害者施設(作業所, グループホームなど)の職員, ヘルパー
- 5 介護保険のケアマネジャー
- 6 市役所の職員
- 7 民生委員・児童委員
- 8 医療機関(医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護)の職員
- 9 その他(具体的に:)
- 10 相談する人がいない
- 11 相談の必要はない

問10 あなたは、医療機関(歯科を含む)の受診で困ることはありますか。(いくつでも○)

- 1 かかりつけ医(日常的に健康について相談できる医療機関)がない
- 2 かかりつけ歯科医(歯の健康や治療について相談できる歯科医)がない
- 3 定期的な健康診断を受けられない
- 4 定期的な歯科健診を受けられない
- 5 専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない
- 6 障害を理由に診療や健診などを断られたことがある
- 7 通院するときに介助してくれる人がいない
- 8 医療費や交通費の負担が大きい
- 9 医師・歯科医師とコミュニケーションがとりづらい
- 10 その他(具体的に:)
- 11 特になし

問11 今後、どのように生活したいですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1 親や兄弟などの家族と一緒に生活する | 4 入所施設で生活する |
| 2 ひとり暮らし, または自分の配偶者と一緒に生活する | 5 その他 |
| 3 グループホームで生活する | (具体的に:) |
| | 6 わからない |



3 日頃のコミュニケーションについておたずねします

問12 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。(それぞれ1つに○) 新規

	ない	ほとんどない	時々ある	常にある
ア じぶん 自分には人とのつきあいがないと 感じることもある	1	2	3	4
イ 自分は取り残されていると感じる ことがある	1	2	3	4
ウ 自分は他の人たちから孤立して いると感じることがある	1	2	3	4
エ 自分は孤独であると感じることが ある	1	2	3	4

問13 家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についてお尋ねします。

あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、お答えください。

(それぞれ1つに○) 新規

同居していない相手との コミュニケーション方法	週 4 ～ 5 回 以上	週 2 ～ 3 回 程度	週 1 回 程度	2 週 間 に 1 回 程度	月 1 回 程度	月 1 回 未 満	全 く な い ・ で き な い
ア 直接会って話す(手話等を含む)	1	2	3	4	5	6	7
イ 電話(ビデオ通話含む)	1	2	3	4	5	6	7
ウ SNS(※)や電子メールなど	1	2	3	4	5	6	7

※ SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは、登録された利用者同士が交流できる、コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス(例:ライン・エックス(旧ツイッター)・フェイスブックなど)。

4 さいがいの たいさく 災害時の対策についておたずねします

問14 ぼうさい こうずい ひなんばしょ ひなんけいろ けいかいくいき かくにん
防災マップや洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。
(1つに○)

1 かくにん
確認している

2 かくにん
確認していない

問15 さいがいの かさい きんきゆう さい ひなんじょうほう おも
災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。(1つに○)

1 ぼうさいぎょうせいむせん
防災行政無線

2 ちょうふしぼうさい あんぜんじょうほう
調布市防災・安全情報メール

3 ちょうふ
調布FM

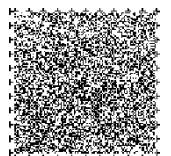
4 し
市ホームページ

5 ケーブルテレビ

6 SNS(市の公式アカウントを含む)

7 その他(具体的に:)

8 わからない



5 暮らしについておたずねします

問16 現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

- 1 正規の社員・職員・役員
- 2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)
- 3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)
- 4 障害者施設(作業所など)
- 5 仕事をしていたが, 現在は仕事をしていない
- 6 これまで仕事をしたことがない(学生を含む)

問17 職場や学校の人に, あなたの障害や病気のことを伝えてありますか。(1つに○)

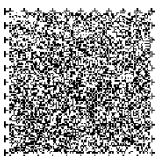
- 1 伝えている
- 2 伝えていない

問18 あなたは, どのような形で働きたい(続けたい)ですか。(1つに○)

- 1 正規の社員・職員・役員
- 2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)
- 3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)
- 4 障害者施設(作業所など)
- 5 働きたいと思わない
- 6 働くことができない

問19 あなたが仕事をするために, 必要なことはありますか。(いくつでも○)

- 1 技術, 知識, 資格などの習得
- 2 病気や障害に応じた柔軟な勤務日, 勤務時間の設定
- 3 病気や障害に応じた多様な働き方(在宅ワークなど)
- 4 雇用する会社の施設面でのバリアフリー
- 5 雇用する会社の相談体制や上司・同僚の病気や障害への理解, 協力
- 6 通勤や勤務中の介助や支援
- 7 就職支援や就職後の仕事の悩みなどを相談できる窓口
- 8 職場実習など, 就職前に試しに働く機会の拡大
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特に必要ない



問20 普段の生活の中で、次のような機会がありますか。(それぞれ1つに○)

	十分にある じゅうぶん	十分ではない じゅうぶん	機会はあるが、 きかいはあるが、	機会がない きかいはない	必要ない ひつよう できない
回答例 かいとうれい	①	2	3	4	
ア 好きなところへ出かける(ヘルパー利用も含む) すきなところへでかける(ヘルパーりようもふくむ)	1	2	3	4	
イ 友人・知人との交流 ゆうじん・ちじんとのこうりゅう	1	2	3	4	
ウ スポーツ・運動(※1)をする機会 スポーツ・うんどう(※1)をするきかい	1	2	3	4	
エ 美術・音楽などの文化芸術活動(※2)の機会 びじゅつ・おんがくなどのぶんかげいじゆつかつどう(※2)のきかい	1	2	3	4	
オ ウ,エ以外の趣味や習いごと う,え以外のしゅみやなら	1	2	3	4	

※1 ここでの「スポーツ・運動」とは、ウォーキング、体操、ヨガなど、競技だけでなく健康づくりのための活動も含みます。これ以降の質問についても同じです。

※2 ここでの「文化芸術活動」とは、絵を描くこと、美術館・博物館などに行くこと、歌を歌ったり、演奏したりすることを含みます。

問21 スポーツ・運動をする機会は何のくらいありますか。(1つに○)

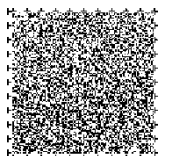
1 週に2回以上 しゅう かいにじょう	3 月に1, 2回程度 つき かいにいど
2 週に1回程度 しゅう かいにいど	4 ほとんどしない

問22 スポーツ・運動をどこでしたいですか。(いくつでも○)

1 地域の体育館 ちいき たいいくかん	5 自宅 じたく
2 民間のスポーツクラブ みんかん スポーツクラブ	6 その他(具体的に: ぐたいてき
3 通所先の施設(作業所など) つうしょさき しせつ さぎょうしょ	7 しない, できない
4 地域の公園や広場 ちいき こうえん ひろば	

問23 スポーツ・運動をするために必要な支援は何ですか。(いくつでも○)

1 活動できる場所 かつどう ばしょ	5 活動場所までの移動手段 かつどうばしょ いどうしゅだん
2 指導者 しどうしゃ	6 活動を介助・サポートしてくれる支援者 かつどう かいじょ しえんしゃ
3 障害に応じた器具・用具 しょうがい おう きぐ ようぐ	7 一緒に活動する仲間 いっしょ かつどう なかま
4 障害に応じたプログラムの充実 しょうがい おう じゅうじつ	8 その他(具体的に: ぐたいてき
や情報提供 じょうほうていきよう	9 スポーツ・運動はしない, できない うんどう



問24 あなたは普段、どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(1つに○) 新規

- | | |
|---------------------------------|---------|
| 1 仕事や学校等で平日は毎日外出する | |
| 2 仕事や学校等で週に3～4日外出する | |
| 3 遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する | |
| 4 人づきあいのためにときどき外出する | |
| 5 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する | } →付問1へ |
| 6 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける | |
| 7 自室からは出るが、家からは出ない | |
| 8 自室からほとんど出ない | |

付問1 問24で「5～8」のいずれかに回答した方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つに○) 新規

- | | | |
|-------------|------------|---------------------|
| 1 3か月未満 | 3 6か月～1年未満 | } 「3」～「6」を選んだ方は付問2へ |
| 2 3か月～6か月未満 | 4 1年～5年未満 | |
| | 5 5年～10年未満 | |
| | 6 10年以上 | |

付問2 付問1で「3～6」のいずれかに回答した方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○) 新規

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 病気 | 6 受験に失敗したこと(高校・大学等) |
| 2 介護・看護を担うことになったこと | 7 就職活動がうまくいかなかったこと |
| 3 (就労中)自宅で仕事をしている | 8 人間関係がうまくいかなかったこと |
| 4 学校になじめなかったこと | 9 退職したこと |
| 5 職場になじめなかったこと | 10 その他(具体的に: _____) |
| | 11 特に理由はない |
| | 12 わからない |

問25 あなた以外で、市内にお住まいのご家族(同居・別居問わず)に下記の外出状況が当てはまる人はいますか。(1つに○) **新規**

1 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	} →付問1へ
2 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	
3 自室からは出るが、家からは出ない	
4 自室からほとんど出ない	
5 いずれもない	
6 外出状況がわからない	

付問1 問25で「1～4」のいずれかに回答した方にうかがいます。

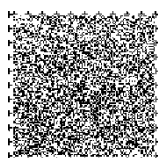
ご家族の外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つに○) **新規**

1 3か月未満	3 6か月～1年未満	} 「3」～「6」を選んだ方は付問2へ
2 3か月～6か月未満	4 1年～5年未満	
	5 5年～10年未満	
	6 10年以上	

付問2 付問1で「3～6」のいずれかに回答した方にうかがいます。

ご家族の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○) **新規**

1 病気	6 受験に失敗したこと(高校・大学等)
2 介護・看護を担うことになったこと	7 就職活動がうまくいかなかったこと
3 (就労中)自宅で仕事をしている	8 人間関係がうまくいかなかったこと
4 学校になじめなかったこと	9 退職したこと
5 職場になじめなかったこと	10 その他(具体的に:)
	11 特に理由はない
	12 わからない



6 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問26 調布のまちは、障害(身体障害, 知的障害, 精神障害, 難病など)のある人にとって、福祉サービス, バリアフリー, 市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。(1つに○)

- 1 住みやすいと思う
- 2 どちらかといえば、住みやすいと思う
- 3 どちらかといえば、住みやすいと思わない
- 4 住みやすいと思わない

問27 共生社会の充実のための法律や考え方、調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。(それぞれ1つに○) **新規**

	内容を知っている	聞いたことはある (内容は知らない)	知らない	説明
ア 障害者差別解消法	1	2	3	障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律
イ 合理的配慮	1	2	3	役所や事業者に対し、障害者から社会の中にあるバリア(生活がしづらくなる社会的障壁)を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること。
ウ パラハートちょうふ	1	2	3	「様々な障害に対する理解を深め、一人ひとりが寄り添う心を持ち、手を取り合って暮らせる社会に」という想いを込めて作成した調布市のキャッチフレーズ
エ 調布市手話言語条例	1	2	3	独自の言語である手話に対する理解促進と普及を推進するための条例
オ 調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例	1	2	3	障害の特性に応じた多様な意思疎通(コミュニケーション)のための手段、配

	内容を知っている	聞いたことはある (内容は知らない)	知らない	説明
				慮, 支援等に対する理解促進と普及を推進するための条例

「調布市手話言語条例」

「調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例」についてはこちら⇒



「パラハートちょうふ」についてはこちら⇒

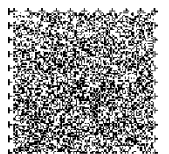


問28 外出時に使用している主な移動手段は何ですか。(2つまで○) 新規

1 自家用車(自ら運転する)	6 徒歩・自転車・車いす
2 自家用車(運転手が別にいる)	7 その他
3 電車	(具体的に:)
4 バス	8 該当なし
5 タクシー	

問29 ^{しない}市内のバリアフリー・ユニバーサルデザインについて、どのように^{かん}感じていますか。(それぞれ 1 つに○)

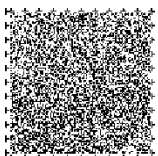
	充実 ^{じゅうじつ} している とても	充実 ^{じゅうじつ} している	充実 ^{じゅうじつ} していない あまり	充実 ^{じゅうじつ} していない	わからない
回答例 ^{かいとうれい}	①	2	3	4	5
ア ^{くるま} 車いすの ^{ひと} 人を含 ^{ふく} め ^{だれ} 誰 ^{あんぜん} もが安全 ^{とお} に通 ^{たてもの} れる建物の ^{でいりぐち} 出入口や ^{つうろ} 通路(段差 ^{だんさ} をなくす, 幅 ^{はば} を広 ^{ひろ} げるなど)	1	2	3	4	5
イ ^{こうきょうしせつ} 公共施設や ^{びょういん} 病院などのスロープ, エレベーターや エスカレーター	1	2	3	4	5



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

	充実 じゅうじつ している とても	充実 じゅうじつ している	充実 じゅうじつ していない あまり	充実 じゅうじつ していない	わからない
かいどうれい 回答例	①	2	3	4	5
ウ くるま ひと にゅうようじ つつ ひと かいじょしゃ どうはん 車いすの人や乳幼児を連れた人、介助者の同伴 が必要 ひつよう な人など、誰も だれ が使いやす つか いトイレ	1	2	3	4	5
エ ある しょうがいぶつ しょうひん かんばん ほうち 歩きやすいように障害物(商品や看板、放置 じてんしゃ でんちゅう と のぞ だんき おうとつ 自転車、電柱など)が取り除かれ、段差や凹凸が すく じゅうぶん ばば ほど とうろ 少なく十分に幅のある歩道や道路	1	2	3	4	5
オ てんじ しかくしょうがいしゃよう しんごうき 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1	2	3	4	5
カ くるま じょうこう 車いすやベビーカーで乗降しやすいノンステップ バスやリフト付バス、ユニバーサルデザインタクシ ー	1	2	3	4	5
キ くるま しょうしゃとうよう ちゅうしゃじょう 車いす使用者等用の駐車場	1	2	3	4	5
ク だれ しょうがい せいごう 誰もがわかりやすいデザイン(文字の大きさ・ 種類・色・イラストなど)及び位置における、多言語 もち あんないひょうじ を用いた案内表示	1	2	3	4	5
ケ しゅわ たいおう おんせい しせつ 手話の対応や音声ガイドがある施設	1	2	3	4	5
コ ほ じょけん どうはん にゅうしつ はいりよ みせ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストラ ンなど	1	2	3	4	5
サ こうえん とうろ ふく ぜんたい 公園・道路などを含む、まち全体のユニバーサル デザイン(※)	1	2	3	4	5
シ こうれいしゃ こ づ かぞく しょうがい びょうき 高齢者、子ども連れの家族、障害や病気などがあ る人に対する人々の接し方 せつ や配慮 はいりよ	1	2	3	4	5

※ ユニバーサルデザインとは、道路・住宅・製品などを設計・製造する場合に、障害のある人用という
区分けをなくし、誰もが使えるものを作るという考え方。



問30 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病気・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)ために、特に必要な取組は何だと思いますか。(2つまで○)

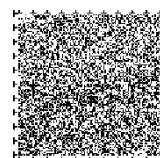
- | |
|--|
| 1 学校における、お互いを理解し、思いやる心を育てるための教育や、障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実 |
| 2 意識啓発のための研修・講演会の開催 |
| 3 障害者や外国人など、さまざまな住民が交流する機会を増やす |
| 4 わかりやすい情報発信 |
| 5 その他(具体的に:) |
| 6 わからない |

問31 普段の暮らしや外出のとき、障害や病気への差別や偏見、配慮のなさを感じる場面はありますか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 教育の機会 | 6 交通機関や建物のつくりの配慮 |
| 2 仕事や収入 | 7 行政職員の対応・態度 |
| 3 近所付き合いや地域の行事・活動 | 8 その他(具体的に:) |
| 4 店での扱いや店員の対応・態度 | 9 特に感じない |
| 5 まちなかでの人の視線 | |

問32 あなたは、調布市が配布しているヘルプカード(※)、ヘルプマーク(※)をもっていますか。(それぞれ1つに○)

①ヘルプカード	1 もっていて、いつも、もち歩いている 2 もっているが、もち歩いていない 3 もっていないが、ほしいと思う 4 もっていないし、必要ない
②ヘルプマーク	1 もっていて、いつも、もち歩いている 2 もっているが、もち歩いていない 3 もっていないが、ほしいと思う 4 もっていないし、必要ない



調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18歳以上)】

※ヘルプカードは、^{しょうがい}障害のある^{ひと}人が^{きんきゅうれんらくさき}緊急連絡先、^{いりょうじょうほう}医療情報、^{てつだ}手伝ってほしい^{ないよう}内容などを記載して、^{きさい}普段から^{ふだん}身に付けておくことで、^{きんきゅうじ}緊急時や^{さいがいじ}災害時、^{にちじょう}日常の^{こま}困ったときに、^{しゅうい}周囲の^{はいりょ}配慮や^{てだす}手助けをお願いしやすくするものです。^{しょうがいふくしか}障害福祉課の^{まどぐち}窓口で^{はいふ}配布しています。これとは別に、^{べつ}障害のある^{しょうがい}人に限らず、^{ひと}外見から^{かぎ}わからなくても^{えんじょ}援助や^{はいりょ}配慮を^{ひつよう}必要としている^{ひと}人のために「ヘルプマーク」もあります。



ヘルプカード



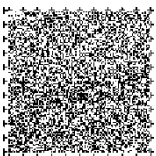
ヘルプマーク

問33 ヘルプカードやヘルプマークをもっていることで、^{しゅうい}周囲の^{ひと}人に^{はいりょ}配慮してもらったり、^{てだす}手助けをしても^らったりしたことがありますか。(1つに○)

1 ある

2 ない

3 もっていない・わからない



7 デジタルの活用についておたずねします

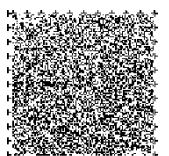
問34 調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

1 市のホームページ	5 家族、友人・知人からの口コミ
2 市の広報紙・チラシ	6 SNS
3 市役所・相談機関などの窓口	7 その他(具体的に:)
4 テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ	8 特にない、情報は入手していない

問35 普段、スマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使っていますか。(1つに○)

1 使っている	2 使っていない
---------	----------

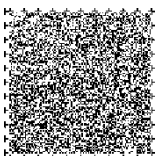
問36 あなたがスマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使ってしたいこと、暮らしの利便性を高めるアイデアがございましたら、教えてください。(自由記述)



8 調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問37 あなたは次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。(それぞれ1つに○)

	知 ^し つ ^て い ^る	知 ^し ら ^な い	せ ^つ め ^い 説 ^め 明
かいとうれい 回答例	①	2	
ア ドルチェ (相談支援・地域活動支援センター)	1	2	おも しんたいしょうがい こうじのうきの うしょうがい ひと 主に身体障害、高次脳機能障害のある人の相談窓口です。
イ ちょうふだぞう (相談支援・地域活動支援センター)	1	2	おも ちてきしょうがい ひと そうだんまどぐち 主に知的障害のある人の相談窓口です。
ウ きぼうがおか 希望ヶ丘 (相談支援・地域活動支援センター)	1	2	おも せいしんしょうがい ひと そうだんまどぐち 主に精神障害のある人の相談窓口です。
エ こころの健康支援センター (相談支援・デイ事業等)	1	2	おも せいしんしょうがい はったつしょうがい ひと そうだん 主に精神障害、発達障害のある人の相談窓口です。
オ なんびょうそうだんまどぐち 難病相談窓口 (障害福祉課・予約制)	1	2	なんびょう 難病にかかったことでの不安や悩みごと ぜんぱん たい そうだんまどぐち 全般に対する相談窓口です。
カ しょうがいしゃぎゃくたいぼうし 障害者虐待防止センター (障害福祉課)	1	2	しょうがいしゃ ぎゃくたい かん そうだん つうほう う 障害者の虐待に関する相談・通報を受け る窓口です。
キ ちいきふくし 地域福祉コーディネーター (社会福祉協議会)	1	2	地域福祉コーディネーターは、支援者支援を主な役割として、市内8つの福祉圏域に1名ずつ配置されており、生活上の悩みや困りごとを抱える方、制度の狭間で苦しんでいる方に対し、様々な機関や団体と連携しながら、課題の解決を図ります。
ク せいねんこうけんせいど 成年後見制度	1	2	はんだんのうりよく ふじゅうぶん い し けつてい 判断能力が不十分であるために意思決定 が困難な人の判断能力を後見人などが補っ ていくことによって、ほうてき ほ ご せいど 法的に保護する制度です。 市は、権利擁護支援の窓口である「利用者サポート相談」に専門の相談員を配置し、権

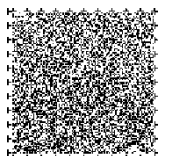


調布市民福祉ニーズ調査【障害者アンケート(18 歳以上)】

	知 ^し っている	知 ^し らない	せつめい 説明
かいとうれい 回答例	①	2	
			利擁護支援を必要とする方に対し, 相談支援 等を行っています。(福祉総務課)

問38 調布市の障害者福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(いくつでも○)

- 1 困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口
- 2 健康づくりや地域での医療サービス
- 3 手当や医療費の助成などの経済的な支援
- 4 成年後見制度など、金銭・財産などの管理の支援
- 5 ホームヘルプなど、在宅生活を支援するサービス
- 6 ガイドヘルパー、コミュニケーション支援など、社会参加の支援
- 7 介助者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ
- 8 日中の活動場所(作業所などの障害者施設)の整備
- 9 企業などで働くための支援(就労支援)
- 10 仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備
- 11 グループホームなど、地域における住まいの場の整備
- 12 障害理解の促進や差別の解消
- 13 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー
- 14 障害に応じた多様な情報提供の充実
- 15 災害時の支援体制の整備
- 16 デジタル技術を活用した、情報提供や意思疎通支援
- 17 その他(具体的に:)



問39 市民同士がお互いに支え合い, 住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるためには, 以下の①～③の取組が重要です。これらの取組について, ご意見, ご提案をお聞かせください。(自由記述)

取組番号

①地域活動の活性化・市民同士の支え合いの仕組みづくり

②相談・サービスの充実

③安全・安心の確保等

取組番号 : ① ・ ② ・ ③ (いずれかに○。複数選択可)
ご意見・ご提案
3つの取組以外で気になっていること

9 ご家族におたずねします

(ひとり暮らし、グループホームなどの人は回答不要です)

問40 ご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。

主に介助や支援をしている人の年齢を教えてください。(1つに○)

1 10歳代	4 40歳代	7 70歳代
2 20歳代	5 50歳代	8 80歳以上
3 30歳代	6 60歳代	9 いない

問41 ご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。

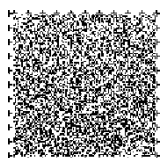
介助や支援にあたってどのような不安や困りごとがありますか。(いくつでも○)

1 障害や病気のことがよくわからない	
2 適切な介助・支援の方法がわからない	
3 自分の時間がもてない(余暇・外出・休養など)	
4 自分の希望する仕事につくこと・続けることが難しい	
5 自分の学校・学業がおろそかになる	
6 介助・支援をする家族自身の高齢化	
7 介助・支援をする家族自身も病気や障害がある	
8 本人のほかにも介助・支援が必要な家族がいる	
9 何かあったときに本人の介助・支援を頼める人(場所)がない	
10 相談できる場所がない	
11 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会がない	
12 経済的な負担が大きい	
13 その他(具体的に: _____)	
14 特にない	
15 いないのでわからない	

問42 ご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。

介助する人への支援として力を入れてほしいことは何ですか。(いくつでも○)

1 介助者同士が交流したり、話し合える場を作ってくれること	
2 本人の介助や支援から離れる時間を作ってくれること	
3 家事や育児を手伝ってくれること	
4 介助や支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及	
5 支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実	
6 その他(具体的に: _____)	
7 わからない	



アンケートは以上です。たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。
調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます(令和8年4月頃の予定)。